

総会・総代会を軸とした  
年間を通じた組合員参加を広げよう

ブロック運営委員 & 学生事務局で考えました/  
10~12月期ってどんな時期？

学祭がある

後期の授業が  
スタートする

推薦合格者が  
決まってくる



4回生がもうすぐ  
卒業を迎える

消費税が変わる

新学期に向けて  
考え始める

- ▶ 総会・総代会から約半年が経過して、2019年度も最後の四半期になりました。
- ▶ この時期は学内で生活する人はもちろん、受験生や推薦生、地域の人など多くの方が学内に訪れる時期です。だからこそ大学生協の魅力を発信していく必要があるのでは？

運営参加を広げるための10~12月期のポイント

01 この時期にしか出ない組合員の声に耳を傾けて、得た情報をもとに取り組みを実行していきましょう。

- ◆ この時期に頻出する組合員の困ったことから生まれるニーズに対応していきましょう。
  - ✓ 後期の授業が始まり、教科書販売や今年は消費税などでの困りごとが予想されます。
  - ✓ 組合員がどのように困っているのか聴き、行動に移しましょう。
- ◆ 組合員との会話の場面をこの時期だからこそ増やしていきましょう。
  - ✓ 長期休暇での経験などの会話が生まれると、情報が入ってきます。  
(例) 長期休暇中の給付事例・旅行先での出来事
  - ✓ その情報をもとに取り組みを考えることも◎

立命館生協 「軽減税率についてのお知らせ」

軽減税率の対象の商品を写真を用いて紹介している。  
組合員が困るであろう案件にいち早く対応できています！



## 02 組合員の運営参加の機会がどうすれば増やせるのか、考える機会をつくりましょう。

- ◆ 新学期活動における上回生に目を向け、彼らが新学期で関わる機会について考えましょう。
  - ✓ 新学期活動では上回生の声によって、大学生活が語られる場面が増えています。
  - ✓ その声をどう集めるのか、また上回生が新学期で成長できる場面作りも考えられると、ステキですね。
- ◆ 理事会などでも議論し、みんなで大学生協をつくる意識を向上させましょう。
  - ✓ 組合員の運営参加について理事会で議論することで、大学生協として行動できます。
  - ✓ この意識が年間で持てると、総会・総代会もみんなで作ることに繋がります。

### 福井大学生協 「福井大学グッズ案の募集」

新しい福井大学のグッズを組合員に考案してもらおう。  
自分が考えたグッズが店舗に並んでいると嬉しいですね。



## 03 総会・総代会で出た組合員（総代）の意見から計画した取り組みを後期でしっかりと行いましょう。

- ◆ 総会・総代会で出た意見をもとに後期に実施する予定の取り組みを考えた会員生協も多いと思います。それらを計画しただけでなく、きちんと実行に移しましょう。
  - ✓ 組合員の声を聴くだけでなく、行動に移すまでをやり切ることが大切◎
  - ✓ 年間を通した組合員参加を意識していきましょう。
- ◆ 前期のうちに実行に移した会員生協に関しても、後期にできることはないか、やり残していることはないかを考えましょう。
  - ✓ 1回きりの取り組みではなく、日常でできる運営参加は何かを考え、実行していくことで新たな参加の連鎖が生まれます！

### 和歌山大学生協 「生協意見交流会」

総代だけでなく、組合員を対象とした意見交流会を実施。  
グループワークでは購買の商品のPOPづくりもしました。



！重要！

10月26日(土)にある議案検討会議の日の午前中に『組合員参加セミナー』を開催します！ぜひ職員と学生がそろってご参加ください！



関西北陸ブロック  
学生事務局  
[ 朝日奈 紀子 ]